

神戸

# 貿易けんぽ

NO.122

2015 夏

設立50周年記念特集号

ご家庭にお持ち帰り、ご家族でお読みください。



みなとのもり公園(神戸震災復興記念公園)

神戸貿易健康保険組合

HPアドレス <http://www.kobeboueki-kenpo.or.jp/>

## 設立50周年記念特集号 もくじ

設立50周年を迎えて	3
概況・第17期組合会議員（役員）名簿・事業所一覧表	4・5
グラフでみる50年のあゆみ 加入事業所数（年度末）の推移	6
平均標準報酬月額（年度末）の推移	7
被保険者数（年度末）の推移	8
被扶養者数（年度末）の推移	9
保険料収入と保険給付費・納付金の推移	10
療養給付費（医療費）の推移	11
拠出金・納付金の推移	12
保健事業費の推移	13
収入支出決算状況（経常収支）の推移	14・15
健康保険の給付	16・17
保健事業	18・19
平成26年度 収入支出決算のあらまし	20・21
スポーツクラブ ルネサンスがおトクにご利用いただけます	22・23
神戸貿易健康保険組合のホームページをご利用ください	24





## 設立50周年を迎えて

神戸貿易健康保険組合  
理事長 新 尚 一

神戸貿易健康保険組合は昭和40年6月1日に設立され、本年6月1日をもちまして設立50周年を迎えることができました。

この50年間を顧みますと、戦後の高度経済成長期の象徴である東京オリンピックの翌年に当組合は設立されました。その後、オイルショックや円高不況、バブル崩壊、デフレ経済、阪神・淡路大震災、リーマンショック、東日本大震災など様々な局面を乗り越え、事業主と被保険者の皆様方に支えられ現在に至りました。

この間、永きにわたり事業運営を継続、発展できましたのは、ひとえに事業主ならびに被保険者の皆様のご理解、ご支援と歴代の理事長を始めとした役員諸先輩、事務局の皆様のご尽力、また監督官庁等関係各位の適切なご指導、ご鞭撻の賜物と改めて深く感謝申し上げる次第であります。

しかしながら、近年、全国の健康保険組合は非常に厳しい財政状況に追い込まれています。その主な要因は、高齢者医療制度への納付金などの拠出金負担が保険料収入の約半分までを占めるようになり、健保財政を非常に圧迫していることがあります。

今年度平成27年度は医療保険制度改革の年であり、今通常国会において5月27日に、入院中の食事代値上げや大病院受診の定額負担導入などを盛り込んだ「医療保険制度改革関連法」が成立しました。しかし、健康保険組合は政府に対して、現役世代の保険料に過度に依存する構造の見直しを強く求めてきましたが、今回の改革関連法では実現できませんでした。安心できる社会生活に国民皆保険は不可欠なものであり、その中核を担う健康保険組合の存立を脅かす現在の高齢者医療制度の見直しを、引き続き積極的に要望してまいります。

このような厳しい状況のなか、国民の健康寿命の延伸の一環として、すべての健康保険組合に対し平成27年度からデータヘルス計画の実施が定めされました。データヘルス計画は、これまで私たち健康保険組合が行っていた健康管理事業の延長にあり、加入者の皆様の健康管理をお手伝いしつつ医療費の削減につなげる一大事業です。皆様の健康を今まで以上に支えていけるよう、着実に実行してまいる所存ですので、皆様におかれましては、これらの健康管理事業を積極的にご活用いただき、毎日をすこやかにお過ごしいただきたいと存じます。

このように大変厳しい環境ではありますが、被保険者ならびにご家族の皆様の健康を守るべく、役職員一同、より一層の努力を行う所存であります。

今後とも皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げ、設立50周年のご挨拶とさせていただきます。

## 神戸貿易健康保険組合の概況

### 昭和40年6月1日 設立

神戸市生田区東町126

事業所数 134事業所・被保険者数 3,511人

### 昭和44年11月11日 事務所移転

神戸市中央区浜辺通5丁目1番14号

神戸商工貿易センタービル14階

### 歴代理事長

初代 沖 豊 治	(昭和40年6月21日～昭和41年6月15日)
2代 三木 滉 藏	(昭和41年6月16日～昭和51年6月28日)
3代 長田 大 介	(昭和51年6月29日～昭和59年6月19日)
4代 難波 還	(昭和59年6月20日～平成2年6月19日)
5代 石光 輝 男	(平成2年6月20日～平成8年6月19日)
6代 富永 和 男	(平成8年6月20日～平成14年6月19日)
7代 新 尚 一	(平成14年6月20日～ 現 在 )

### 歴代常務理事

初代 西山 貞 男	(昭和40年6月21日～昭和56年1月20日)
2代 神吉 比呂美	(昭和56年1月21日～平成6年4月16日)
3代 斎藤 徹	(平成6年4月17日～平成14年12月31日)
4代 栗林 喜佐夫	(平成15年1月1日～平成26年3月31日)
5代 足立 悟	(平成26年4月1日～ 現 在 )

## 第17期組合会議員(役員)名簿

(役職・記号順・敬称略)

任期 (平成25年6月24日～平成28年6月23日)

区分	役職名	氏 名	会 社 名	区分	役職名	氏 名	会 社 名
選定	理事長	新 尚 一	一般社団法人神戸貿易協会	互選	理 事	山根 清 文	石光商事株式会社
選定	理 事	長田 庄太郎	長田通商株式会社	互選	理 事	小野 博 志	一般社団法人神戸貿易協会
選定	理 事	船越 照平	株式会社神戸洋行	互選	理 事	中田 光 彦	富永貿易株式会社
選定	理 事	美濃 広之	三ツ星貿易株式会社	互選	理 事	神崎 淳 將	株式会社岡崎製作所
選定	監 事	喜多 芳 昭	帝真貿易株式会社	互選	理 事	辻下 勝 也	株式会社TASAKI
選定	議 員	酒井 康光	大和実業株式会社	互選	監 事	金野 泰 治	アシックス商事株式会社
選定	議 員	森本 茂	石光商事株式会社	互選	議 員	湊 伸 之	西進商事株式会社
選定	議 員	奥田 憲二	株式会社春日商会	互選	議 員	高橋 秀 人	神戸インターナショナル株式会社
選定	議 員	樋崎 裕二	メイワ株式会社	互選	議 員	横山 博	大洋物産株式会社
選定	議 員	前中 和文	泰聖貿易株式会社	互選	議 員	横山 晴 美	中日輪船商事株式会社
選定	議 員	中島 三舞郎	株式会社角伸	互選	議 員	松井 芳	東洋ナッツ食品株式会社
選定	常務理事	足立 悟	神戸貿易健康保険組合	互選	議 員	北尾 優	神港魚類株式会社

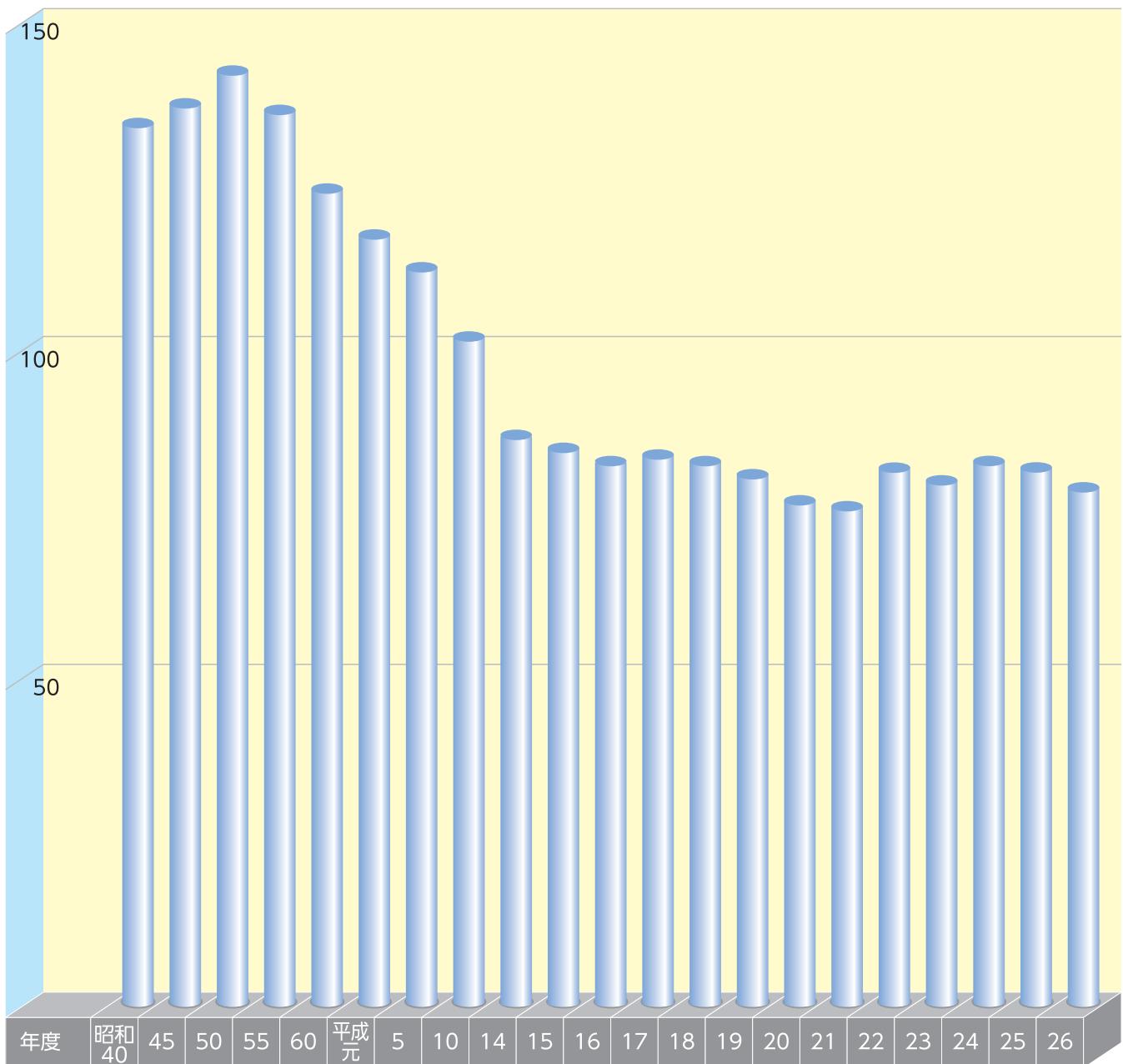
## 神戸貿易健康保険組合 事業所一覧表

(記号順、平成27年7月末現在79社)

大和実業株式会社	振興実業株式会社
株式会社大同貿易公司	カールオリエントトレーディング株式会社
株式会社だるまや	大洋物産株式会社
株式会社富士インダストリーズ	有限会社泰安公司
福建貿易株式会社	株式会社TASA KI
アシックス商事株式会社	高山産業株式会社
株式会社樋口茂正商店	株式会社高砂商行
石光商事株式会社	竹林貿易株式会社
株式会社春日商会	田嶋株式会社
関西アライドコーヒーロースター株式会社	株式会社三宅製針商会
株式会社光洋商会	泰聖貿易株式会社
神戸真田貿易株式会社	株式会社徳明
神戸大洋商事株式会社	東洋物産株式会社
一般社団法人神戸貿易協会	株式会社津田商会
株式会社神戸洋行	ヤマト興業株式会社
神戸貿易健康保険組合	株式会社山本商店
株式会社神戸商工貿易センター	山田貿易株式会社
神戸貿易協同組合	矢野物産株式会社
株式会社マルイ	中日輪船商事株式会社
またけ産業株式会社	門倉貿易株式会社
株式会社マルイ・シュー・ズ	株式会社メイワインターナショナル
帝真貿易株式会社	杉原産業株式会社
富永貿易株式会社	北村真珠養殖株式会社神戸支店
マイワ株式会社	株式会社インターフォルム
三ツ星貿易株式会社	株式会社ミツクラ
南貿易株式会社	株式会社角仲
長田通商株式会社	有限会社エースカンパニー
ナショナル貿易株式会社	東洋ナッツ食品株式会社
日本真珠輸出組合	株式会社トントン
日本寒天貿易株式会社	富永食品株式会社
株式会社岡崎製作所	神洋食品株式会社
大村商事株式会社	エム・ヴィ・エム商事株式会社
株式会社岡崎製作所機械工場	神港魚類株式会社
坂口興業株式会社	株式会社高島商事
サカクラ株式会社	株式会社西進テクノサービス
株式会社サワダ	神洋冷凍株式会社
株式会社三久商店	株式会社合食
西進商事株式会社	株式会社ウニヤトレーディング
神和商事株式会社	株式会社クリエ神戸
神戸インターナショナル株式会社	

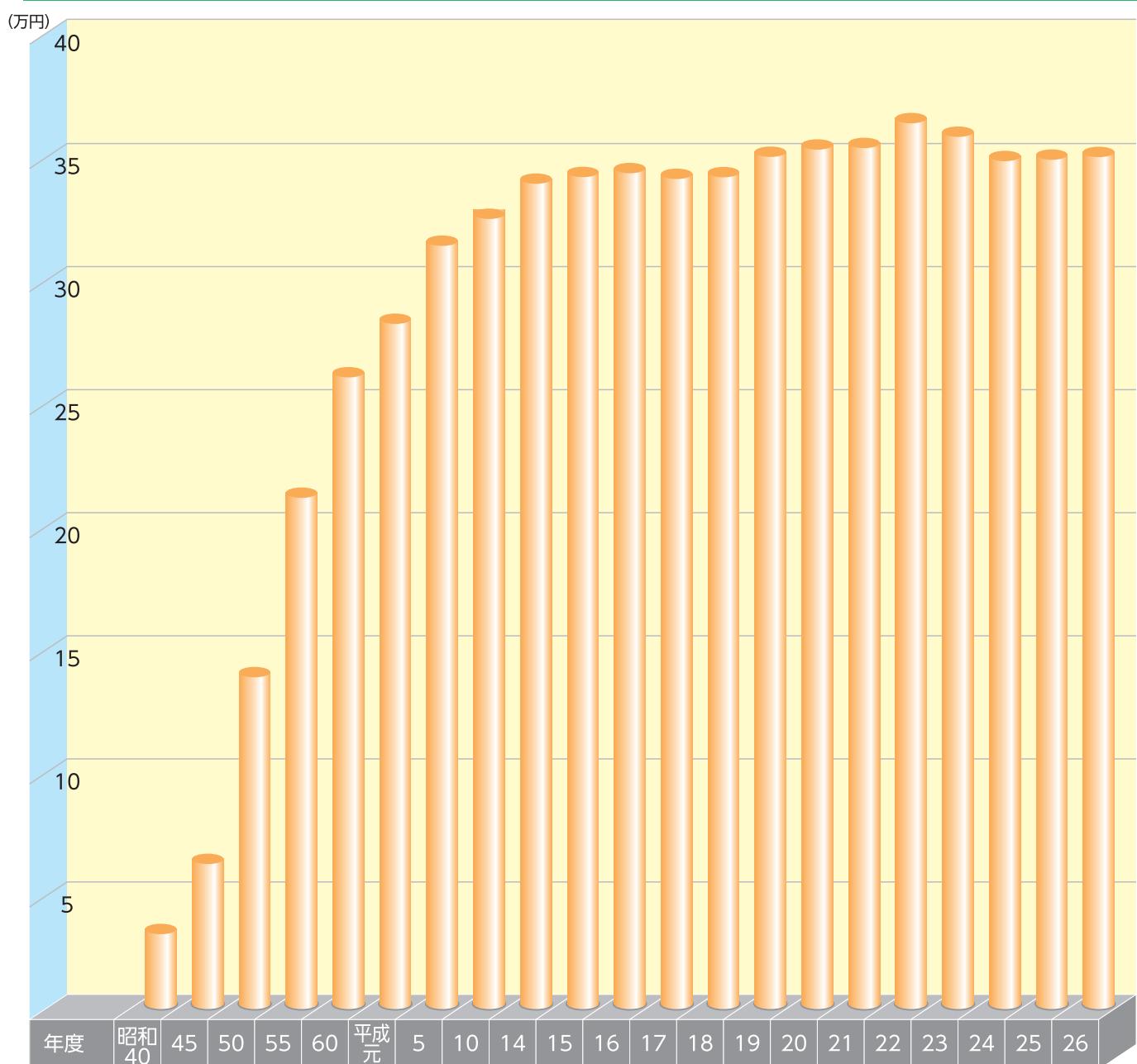
## グラフでみる50年のあゆみ

### 加入事業所数(年度末)の推移



年度	事業所数	年度	事業所数	年度	事業所数	年度	事業所数
昭和40(1965)	134	昭和53(1978)	138	平成3(1991)	113	平成16(2004)	83
昭和41(1966)	136	昭和54(1979)	137	平成4(1992)	112	平成17(2005)	84
昭和42(1967)	136	昭和55(1980)	136	平成5(1993)	112	平成18(2006)	83
昭和43(1968)	136	昭和56(1981)	136	平成6(1994)	112	平成19(2007)	81
昭和44(1969)	132	昭和57(1982)	133	平成7(1995)	108	平成20(2008)	77
昭和45(1970)	137	昭和58(1983)	130	平成8(1996)	107	平成21(2009)	77
昭和46(1971)	139	昭和59(1984)	127	平成9(1997)	103	平成22(2010)	82
昭和47(1972)	139	昭和60(1985)	124	平成10(1998)	100	平成23(2011)	80
昭和48(1973)	139	昭和61(1986)	122	平成11(1999)	99	平成24(2012)	83
昭和49(1974)	142	昭和62(1987)	121	平成12(2000)	95	平成25(2013)	82
昭和50(1975)	142	昭和63(1988)	118	平成13(2001)	92	平成26(2014)	79
昭和51(1976)	141	平成元(1989)	117	平成14(2002)	87		
昭和52(1977)	139	平成2(1990)	115	平成15(2003)	85		

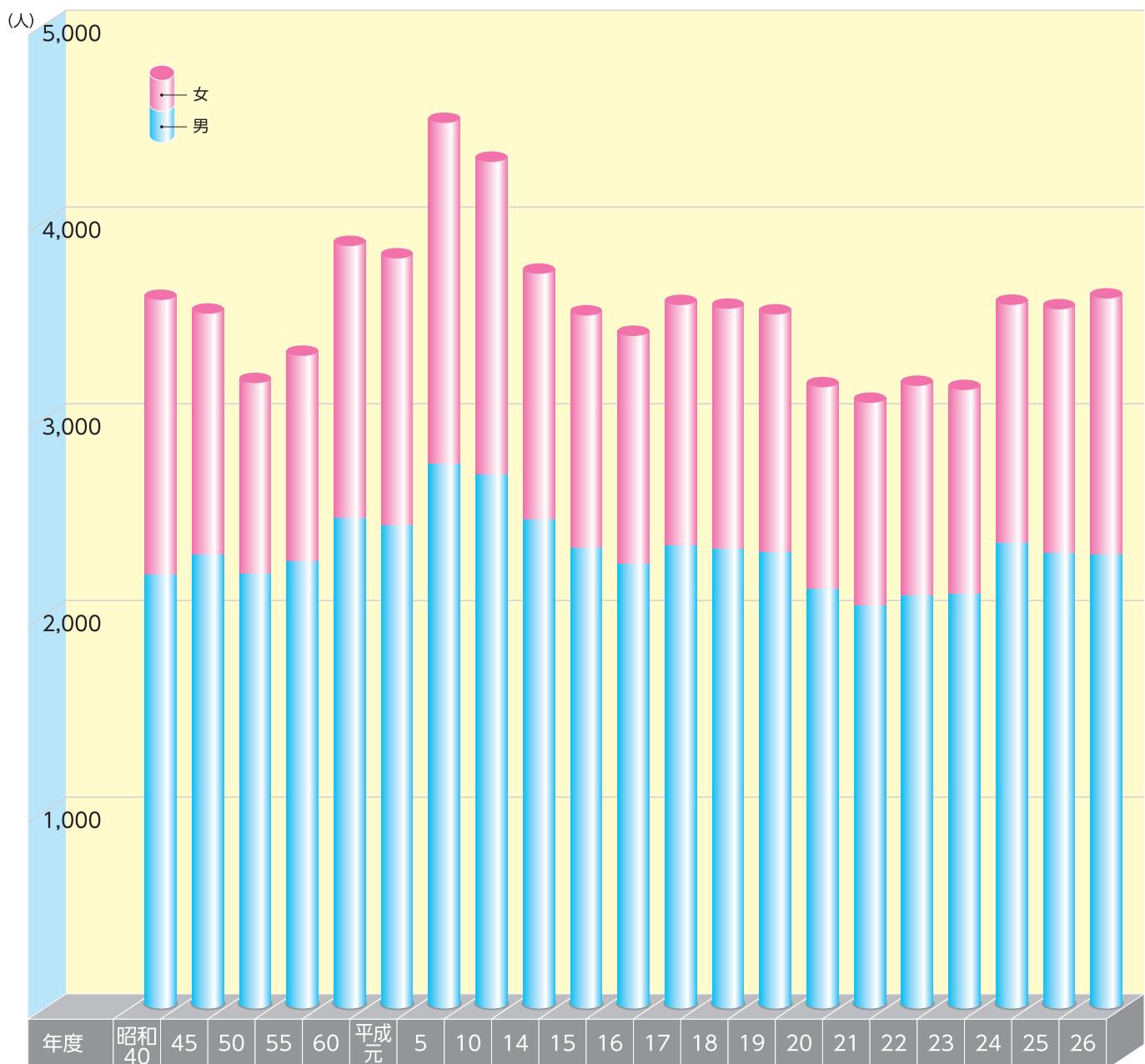
## 平均標準報酬月額(年度末)の推移



年度	平均標準報酬月額(円)	年度	平均標準報酬月額(円)	年度	平均標準報酬月額(円)	年度	平均標準報酬月額(円)
昭和40(1965)	30,436	昭和53(1978)	187,521	平成3(1991)	292,337	平成16(2004)	339,702
昭和41(1966)	37,427	昭和54(1979)	197,015	平成4(1992)	306,228	平成17(2005)	337,358
昭和42(1967)	40,697	昭和55(1980)	207,759	平成5(1993)	310,184	平成18(2006)	338,050
昭和43(1968)	44,329	昭和56(1981)	217,352	平成6(1994)	309,686	平成19(2007)	346,330
昭和44(1969)	49,831	昭和57(1982)	226,331	平成7(1995)	311,370	平成20(2008)	349,286
昭和45(1970)	58,930	昭和58(1983)	231,098	平成8(1996)	317,322	平成21(2009)	349,912
昭和46(1971)	66,325	昭和59(1984)	249,821	平成9(1997)	325,018	平成22(2010)	360,013
昭和47(1972)	72,331	昭和60(1985)	256,720	平成10(1998)	322,821	平成23(2011)	354,471
昭和48(1973)	98,242	昭和61(1986)	262,264	平成11(1999)	322,579	平成24(2012)	344,602
昭和49(1974)	119,044	昭和62(1987)	267,456	平成12(2000)	326,433	平成25(2013)	345,162
昭和50(1975)	134,836	昭和63(1988)	271,405	平成13(2001)	333,930	平成26(2014)	346,252
昭和51(1976)	159,853	平成元(1989)	278,449	平成14(2002)	335,404		
昭和52(1977)	180,199	平成2(1990)	286,756	平成15(2003)	338,115		

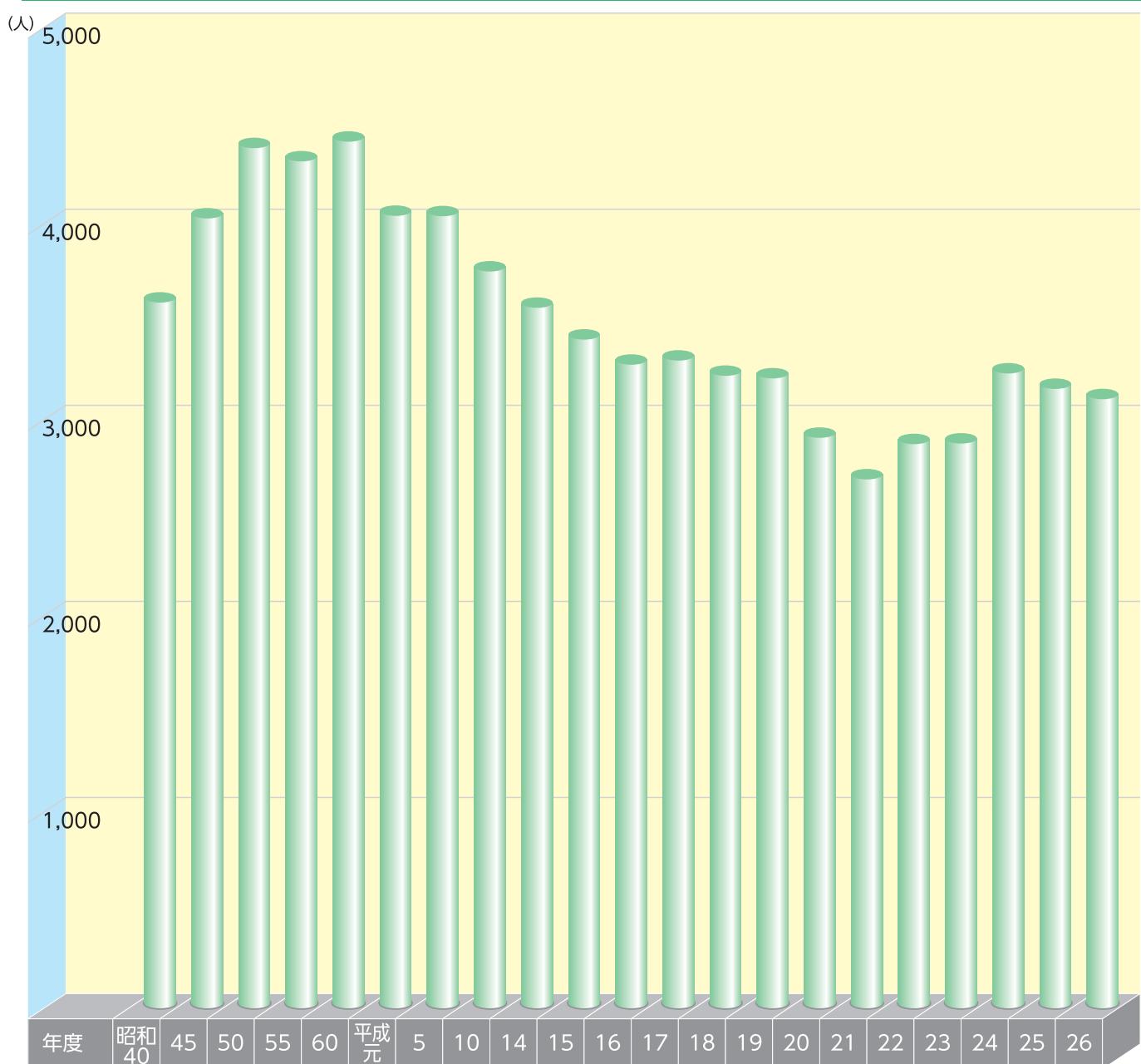
## グラフでみる50年のあゆみ

### 被保険者数(年度末)の推移



年度	被保険者数(人)														
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
昭和40(1965)	2,180	1,422	3,602	昭和53(1978)	2,152	990	3,142	平成3(1991)	2,612	1,634	4,246	平成16(2004)	2,235	1,184	3,419
昭和41(1966)	2,290	1,512	3,802	昭和54(1979)	2,203	994	3,197	平成4(1992)	2,685	1,668	4,353	平成17(2005)	2,329	1,247	3,576
昭和42(1967)	2,317	1,454	3,771	昭和55(1980)	2,250	1,068	3,318	平成5(1993)	2,746	1,756	4,502	平成18(2006)	2,314	1,243	3,557
昭和43(1968)	2,279	1,386	3,665	昭和56(1981)	2,284	1,282	3,566	平成6(1994)	2,796	1,802	4,598	平成19(2007)	2,296	1,232	3,528
昭和44(1969)	2,326	1,424	3,750	昭和57(1982)	2,354	1,304	3,658	平成7(1995)	2,809	1,821	4,630	平成20(2008)	2,108	1,050	3,158
昭和45(1970)	2,283	1,249	3,532	昭和58(1983)	2,398	1,325	3,723	平成8(1996)	2,786	1,759	4,545	平成21(2009)	2,024	1,055	3,079
昭和46(1971)	2,301	1,187	3,488	昭和59(1984)	2,429	1,411	3,840	平成9(1997)	2,735	1,712	4,447	平成22(2010)	2,078	1,087	3,165
昭和47(1972)	2,268	1,165	3,433	昭和60(1985)	2,472	1,404	3,876	平成10(1998)	2,691	1,613	4,304	平成23(2011)	2,085	1,059	3,144
昭和48(1973)	2,231	1,103	3,334	昭和61(1986)	2,393	1,325	3,718	平成11(1999)	2,619	1,532	4,151	平成24(2012)	2,345	1,232	3,577
昭和49(1974)	2,205	1,078	3,283	昭和62(1987)	2,396	1,308	3,704	平成12(2000)	2,599	1,526	4,125	平成25(2013)	2,292	1,262	3,554
昭和50(1975)	2,183	995	3,178	昭和63(1988)	2,376	1,290	3,666	平成13(2001)	2,580	1,361	3,941	平成26(2014)	2,285	1,324	3,609
昭和51(1976)	2,233	1,034	3,267	平成元(1989)	2,434	1,379	3,813	平成14(2002)	2,462	1,273	3,735				
昭和52(1977)	2,207	999	3,206	平成2(1990)	2,513	1,476	3,989	平成15(2003)	2,317	1,206	3,523				

## 被扶養者数(年度末)の推移



年度	被扶養者数(人)	年度	被扶養者数(人)	年度	被扶養者数(人)	年度	被扶養者数(人)
昭和40(1965)	3,564	昭和53(1978)	4,119	平成3(1991)	4,006	平成16(2004)	3,250
昭和41(1966)	3,657	昭和54(1979)	4,198	平成4(1992)	3,939	平成17(2005)	3,271
昭和42(1967)	3,735	昭和55(1980)	4,277	平成5(1993)	4,000	平成18(2006)	3,194
昭和43(1968)	3,719	昭和56(1981)	4,275	平成6(1994)	4,059	平成19(2007)	3,181
昭和44(1969)	3,892	昭和57(1982)	4,288	平成7(1995)	4,017	平成20(2008)	2,881
昭和45(1970)	3,989	昭和58(1983)	4,364	平成8(1996)	3,927	平成21(2009)	2,671
昭和46(1971)	4,005	昭和59(1984)	4,398	平成9(1997)	3,846	平成22(2010)	2,849
昭和47(1972)	4,204	昭和60(1985)	4,377	平成10(1998)	3,721	平成23(2011)	2,852
昭和48(1973)	4,236	昭和61(1986)	4,145	平成11(1999)	3,710	平成24(2012)	3,206
昭和49(1974)	4,235	昭和62(1987)	4,166	平成12(2000)	3,666	平成25(2013)	3,128
昭和50(1975)	4,344	昭和63(1988)	3,990	平成13(2001)	3,630	平成26(2014)	3,076
昭和51(1976)	4,256	平成元(1989)	4,002	平成14(2002)	3,532		
昭和52(1977)	4,227	平成2(1990)	3,955	平成15(2003)	3,377		

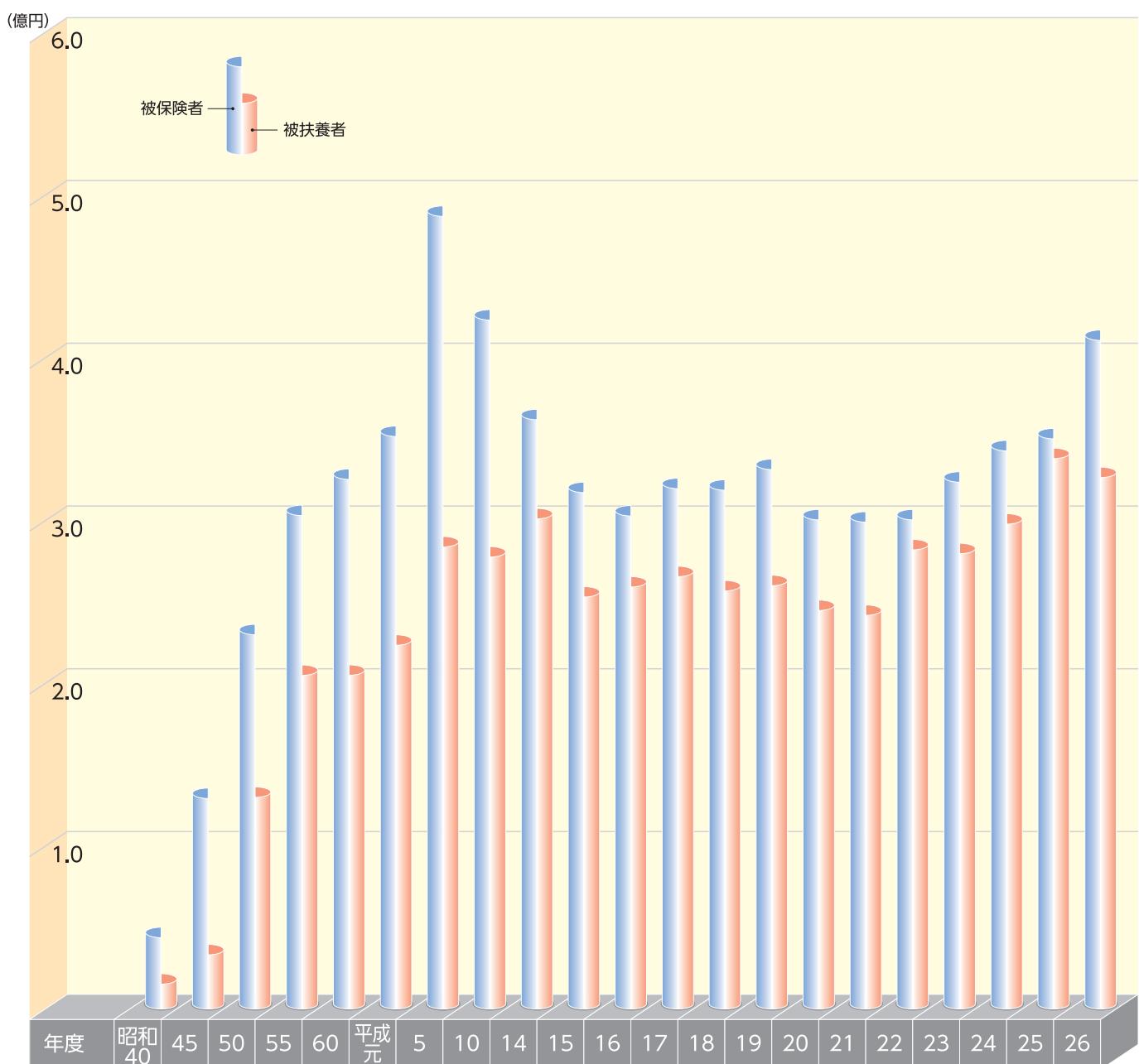
## グラフでみる50年のあゆみ

### 保険料収入と保険給付費・納付金の推移



年度	保険料収入 (千円)	保険給付費 (千円)	納付金 (千円)												
昭和40(1965)	61,675	51,914		昭和53(1978)	572,718	502,513		平成3(1991)	1,201,799	706,313	333,104	平成16(2004)	1,420,222	656,412	663,505
昭和41(1966)	103,214	91,850		昭和54(1979)	596,075	507,829		平成4(1992)	1,279,970	787,784	425,026	平成17(2005)	1,446,877	731,124	632,671
昭和42(1967)	121,471	103,422		昭和55(1980)	647,880	550,106		平成5(1993)	1,370,076	885,825	425,733	平成18(2006)	1,452,089	737,385	463,535
昭和43(1968)	135,600	125,219		昭和56(1981)	731,172	637,266		平成6(1994)	1,416,996	852,377	375,184	平成19(2007)	1,473,297	756,808	555,809
昭和44(1969)	151,262	135,292		昭和57(1982)	802,884	639,662	7,383	平成7(1995)	1,440,478	971,107	382,905	平成20(2008)	1,459,324	703,175	680,842
昭和45(1970)	174,906	172,265		昭和58(1983)	834,489	581,551	103,719	平成8(1996)	1,432,665	911,664	528,404	平成21(2009)	1,246,253	701,320	716,855
昭和46(1971)	207,982	173,740		昭和59(1984)	907,974	581,981	154,400	平成9(1997)	1,449,704	885,760	580,894	平成22(2010)	1,262,558	766,692	576,495
昭和47(1972)	221,816	194,925		昭和60(1985)	972,539	583,455	204,721	平成10(1998)	1,404,469	835,398	489,325	平成23(2011)	1,293,168	753,014	574,516
昭和48(1973)	260,905	236,939		昭和61(1986)	973,065	639,154	188,193	平成11(1999)	1,346,662	811,950	623,485	平成24(2012)	1,381,893	794,765	558,038
昭和49(1974)	339,602	329,670		昭和62(1987)	974,448	609,044	273,800	平成12(2000)	1,337,365	748,860	599,039	平成25(2013)	1,607,969	861,629	646,694
昭和50(1975)	408,955	374,050		昭和63(1988)	979,505	618,051	284,562	平成13(2001)	1,335,126	779,298	528,208	平成26(2014)	1,633,361	911,731	776,787
昭和51(1976)	484,829	461,964		昭和64(1989)	1,024,339	624,690	263,552	平成14(2002)	1,274,494	759,811	639,955				
昭和52(1977)	548,275	480,260		昭和65(1990)	1,103,522	672,557	297,794	平成15(2003)	1,462,888	675,531	608,973				

## 療養給付費(医療費)の推移



年度	被保険者(千円)	被扶養者(千円)									
昭和40(1965)	38,036	9,481	昭和53(1978)	278,973	181,887	平成3(1991)	398,449	230,807	平成16(2004)	297,099	253,558
昭和41(1966)	69,513	16,558	昭和54(1979)	264,034	199,247	平成4(1992)	441,851	244,557	平成17(2005)	319,650	263,417
昭和42(1967)	78,027	19,235	昭和55(1980)	303,092	204,934	平成5(1993)	481,139	278,111	平成18(2006)	318,698	256,826
昭和43(1968)	94,315	23,923	昭和56(1981)	360,065	226,221	平成6(1994)	469,468	267,951	平成19(2007)	331,394	260,061
昭和44(1969)	100,070	27,565	昭和57(1982)	352,868	233,806	平成7(1995)	540,165	295,914	平成20(2008)	300,467	244,809
昭和45(1970)	129,291	33,274	昭和58(1983)	346,018	185,051	平成8(1996)	510,726	275,174	平成21(2009)	299,068	241,807
昭和46(1971)	125,323	32,413	昭和59(1984)	343,091	191,274	平成9(1997)	464,230	282,750	平成22(2010)	300,458	282,064
昭和47(1972)	140,161	43,206	昭和60(1985)	319,572	199,158	平成10(1998)	423,209	277,655	平成23(2011)	323,622	279,686
昭和48(1973)	160,692	60,313	昭和61(1986)	355,265	215,944	平成11(1999)	412,596	287,262	平成24(2012)	342,864	297,857
昭和49(1974)	195,178	106,348	昭和62(1987)	336,383	205,284	平成12(2000)	381,509	270,367	平成25(2013)	350,240	338,108
昭和50(1975)	224,105	124,419	昭和63(1988)	333,354	220,292	平成13(2001)	391,877	290,050	平成26(2014)	410,699	326,453
昭和51(1976)	275,527	151,453	平成元(1989)	345,932	217,642	平成14(2002)	361,982	301,130			
昭和52(1977)	270,953	167,387	平成2(1990)	376,040	223,269	平成15(2003)	311,431	253,176			

## グラフでみる50年のあゆみ

### 拠出金・納付金の推移



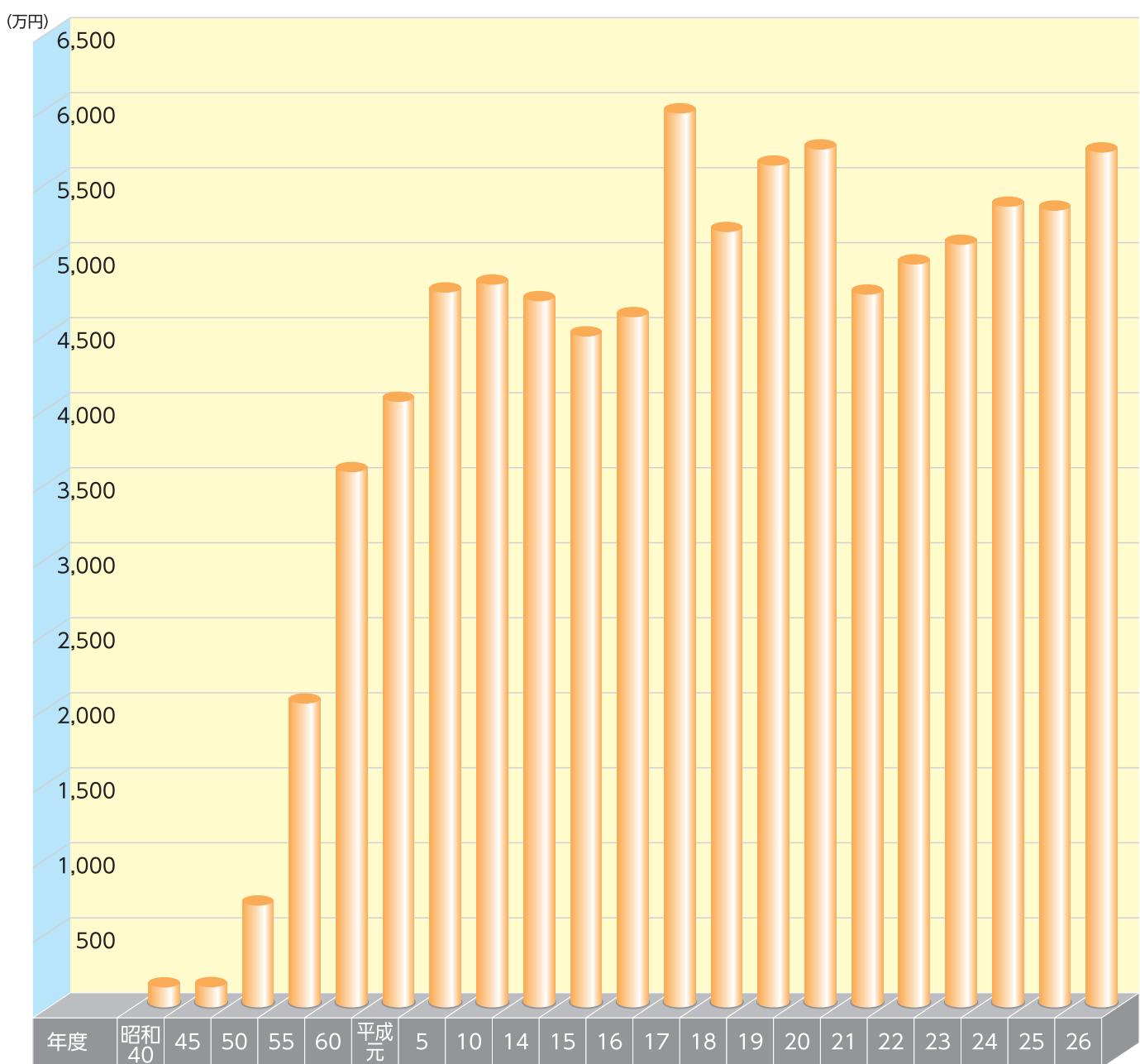
年度	老人保健拠出金 (千円)	退職者給付拠出金 (千円)	日雇拠出金 (千円)	合計 (千円)	年度	前期高齢者納付金 (千円)	後期高齢者支援金 (千円)	病床転換支援金 (千円)	老人保健拠出金 (千円)	退職者給付拠出金 (千円)	日雇拠出金 (千円)	合計 (千円)	介護納付金 (千円)
昭和57(1982)	7,838			7,838	平成11(1999)				510,575	112,030	880	623,485	
昭和58(1983)	103,719			103,719	平成12(2000)				481,523	116,662	854	599,039	69,859
昭和59(1984)	129,065	25,335		154,400	平成13(2001)				390,428	137,590	190	528,208	79,571
昭和60(1985)	155,504	48,693	524	204,721	平成14(2002)				479,417	159,806	732	639,955	80,415
昭和61(1986)	139,669	48,426	98	188,193	平成15(2003)				441,453	167,520		608,973	89,543
昭和62(1987)	218,139	55,254	407	273,800	平成16(2004)				504,758	158,747		663,505	99,571
昭和63(1988)	223,427	60,319	816	284,562	平成17(2005)				455,398	177,273		632,671	105,120
平成元(1989)	204,909	58,172	471	263,552	平成18(2006)				246,905	216,630		463,535	100,435
平成 2(1990)	242,562	54,650	582	297,794	平成19(2007)				288,418	267,391		555,809	116,491
平成 3(1991)	268,279	64,159	666	333,104	平成20(2008)	269,836	255,861	166	51,986	102,993		680,842	118,252
平成 4(1992)	352,153	72,343	530	425,026	平成21(2009)	295,895	286,141	223	81,493	53,103		716,855	111,162
平成 5(1993)	344,531	80,398	804	425,733	平成22(2010)	267,494	264,921		14	44,066		576,495	98,983
平成 6(1994)	276,006	97,748	1,430	375,184	平成23(2011)	273,579	235,243		71	65,623		574,516	100,017
平成 7(1995)	278,956	102,506	1,443	382,905	平成24(2012)	224,555	264,796		61	68,626		558,038	127,496
平成 8(1996)	426,293	101,027	1,084	528,404	平成25(2013)	244,951	326,791		10	74,942		646,694	138,379
平成 9(1997)	478,115	101,941	838	580,894	平成26(2014)	321,140	382,706		10	72,931		776,787	184,397
平成10(1998)	383,401	105,265	659	489,325									

※拠出金制度は昭和57(1982)年度から施行されています。

※介護保険制度は平成12(2000)年度から施行されています。

※納付金制度は平成20(2008)年度から施行されています。

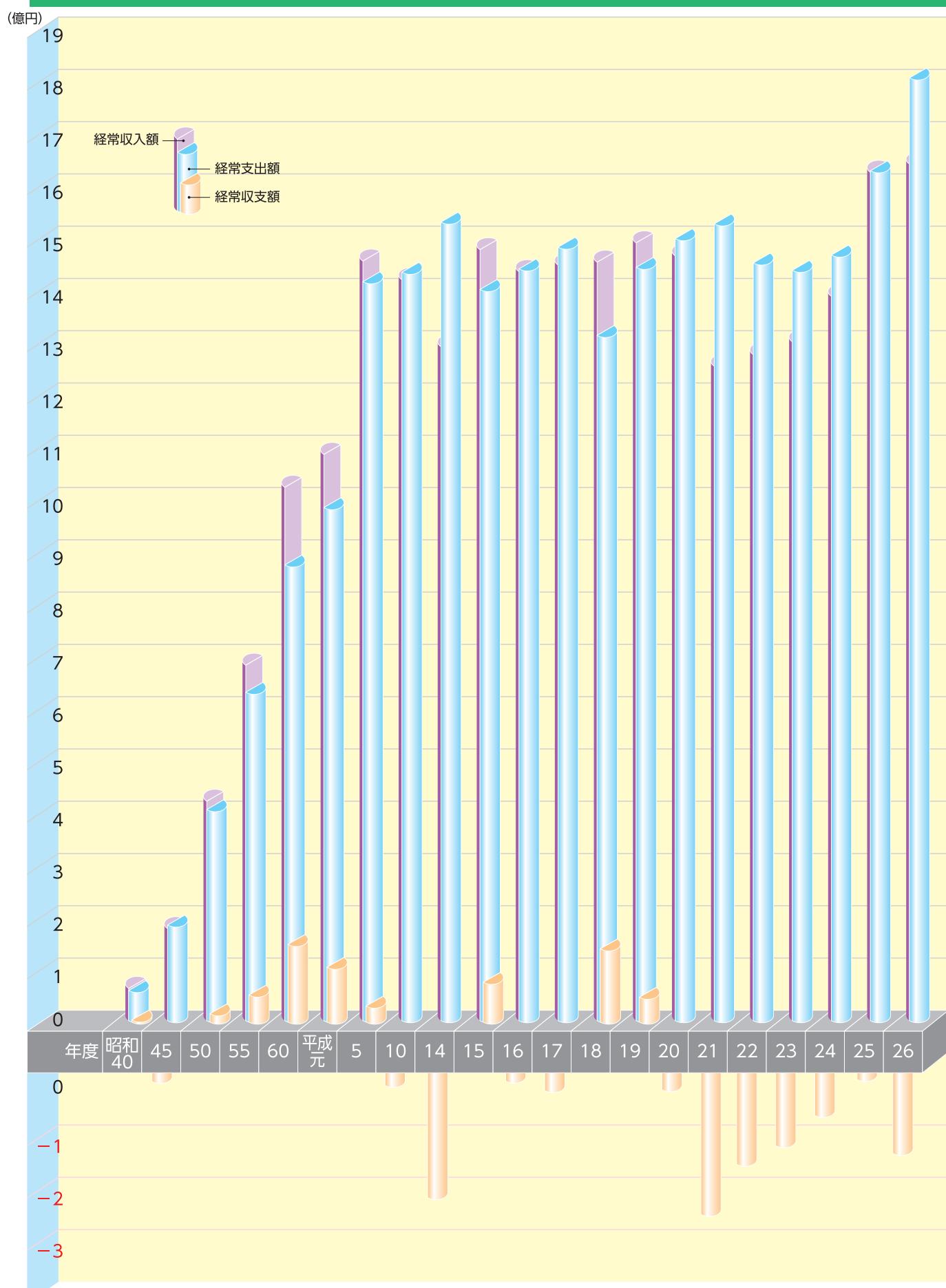
## 保健事業費の推移



年度	保健事業費(千円)	年度	保健事業費(千円)	年度	保健事業費(千円)	年度	保健事業費(千円)
昭和40(1965)	1,324	昭和53(1978)	8,538	平成 3 (1991)	47,023	平成16(2004)	46,002
昭和41(1966)	1,975	昭和54(1979)	10,586	平成 4 (1992)	41,623	平成17(2005)	59,581
昭和42(1967)	1,695	昭和55(1980)	20,247	平成 5 (1993)	47,642	平成18(2006)	51,675
昭和43(1968)	5,186	昭和56(1981)	8,888	平成 6 (1994)	43,380	平成19(2007)	56,100
昭和44(1969)	1,993	昭和57(1982)	12,600	平成 7 (1995)	60,854	平成20(2008)	57,177
昭和45(1970)	1,343	昭和58(1983)	20,267	平成 8 (1996)	49,509	平成21(2009)	47,503
昭和46(1971)	2,528	昭和59(1984)	21,361	平成 9 (1997)	52,541	平成22(2010)	49,510
昭和47(1972)	5,102	昭和60(1985)	35,670	平成10(1998)	48,168	平成23(2011)	50,822
昭和48(1973)	4,094	昭和61(1986)	25,389	平成11(1999)	50,339	平成24(2012)	53,361
昭和49(1974)	5,427	昭和62(1987)	25,958	平成12(2000)	59,506	平成25(2013)	53,100
昭和50(1975)	6,780	昭和63(1988)	28,088	平成13(2001)	48,603	平成26(2014)	56,977
昭和51(1976)	9,467	平成元(1989)	40,359	平成14(2002)	47,067		
昭和52(1977)	6,782	平成 2 (1990)	49,367	平成15(2003)	44,714		

## グラフでみる50年のあゆみ

### 収入支出決算状況(経常収支)の推移



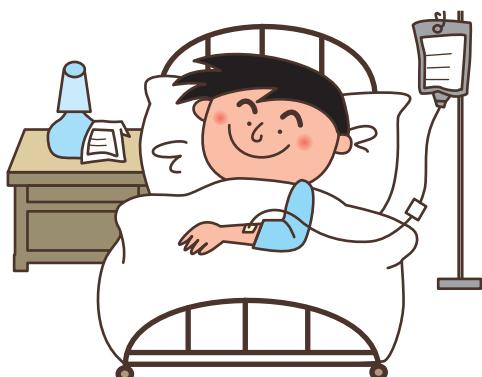
年 度	経常収入額(千円)	経常支出額(千円)	経常収支額(千円)
昭和40(1965)	62,162	57,948	4,214
昭和41(1966)	104,038	99,590	4,448
昭和42(1967)	122,734	111,480	11,254
昭和43(1968)	137,289	137,740	-451
昭和44(1969)	153,382	145,568	7,814
昭和45(1970)	177,231	183,779	-6,548
昭和46(1971)	210,786	187,741	23,045
昭和47(1972)	226,498	214,381	12,117
昭和48(1973)	266,039	258,026	8,013
昭和49(1974)	347,445	354,913	-7,468
昭和50(1975)	421,589	405,465	16,124
昭和51(1976)	504,441	502,214	2,227
昭和52(1977)	571,095	522,333	48,762
昭和53(1978)	591,803	553,532	38,271
昭和54(1979)	617,834	565,038	52,796
昭和55(1980)	682,942	630,974	51,968
昭和56(1981)	758,858	689,956	68,902
昭和57(1982)	840,437	717,806	122,631
昭和58(1983)	874,013	754,450	119,563
昭和59(1984)	952,463	807,487	144,876
昭和60(1985)	1,024,736	875,469	149,267
昭和61(1986)	1,028,343	904,550	123,793
昭和62(1987)	1,025,290	960,615	64,675
昭和63(1988)	1,039,684	983,329	56,355
平成元(1989)	1,087,937	982,502	105,435
平成2(1990)	1,207,916	1,076,163	131,753
平成3(1991)	1,317,481	1,144,403	173,078
平成4(1992)	1,392,625	1,313,144	79,481
平成5(1993)	1,459,431	1,419,689	39,742
平成6(1994)	1,480,407	1,343,971	136,436
平成7(1995)	1,505,613	1,498,319	7,294
平成8(1996)	1,466,510	1,553,589	-87,079
平成9(1997)	1,493,585	1,640,070	-110,485
平成10(1998)	1,423,639	1,437,819	-14,180
平成11(1999)	1,361,725	1,552,968	-191,243
平成12(2000)	1,340,134	1,471,290	-122,156
平成13(2001)	1,343,822	1,422,410	-78,588
平成14(2002)	1,295,036	1,534,148	-239,112
平成15(2003)	1,481,300	1,404,804	76,496
平成16(2004)	1,438,978	1,444,824	-5,846
平成17(2005)	1,451,916	1,486,046	-34,130
平成18(2006)	1,457,278	1,316,542	140,736
平成19(2007)	1,494,382	1,447,302	47,080
平成20(2008)	1,469,532	1,502,433	-32,901
平成21(2009)	1,257,456	1,530,759	-273,303
平成22(2010)	1,279,850	1,455,651	-175,801
平成23(2011)	1,304,373	1,441,538	-137,165
平成24(2012)	1,391,821	1,470,868	-79,047
平成25(2013)	1,630,004	1,632,797	-2,793
平成26(2014)	1,645,854	1,800,844	-154,990

年 月	健康保険料率
昭和40年6月	65/1000
昭和42年9月	72/1000
昭和46年4月	77/1000
昭和50年3月	83/1000
平成25年3月	93/1000

年 月	介護保険料率
平成12年4月	12/1000
平成15年3月	10/1000
平成18年3月	12/1000
平成21年3月	12/1000
平成24年3月	14/1000
平成27年3月	16/1000

## 健康保険の給付 本人(被保険者)

病気やけがで受診するとき	療養の給付	医療費の7割
	保険外併用療養費	保険外の療養を併用したとき、健康保険のワク内は上記と同じ
	療養費	立て替え払いした後で健保組合に請求すれば一定基準で支給
	高額療養費合算高額療養費	1ヵ月1件の医療費自己負担が、 <b>所得区分に応じ定められた自己負担限度額</b> を超えたとき、超えた額を支給（世帯合算等の負担軽減措置あり）※1参照
	高額介護合算療養費	1年間に医療と介護にかかった自己負担の合計額が <b>所得区分に応じ定められた自己負担限度額</b> を超えたとき、超過分を医療にかかった自己負担の比率に応じて按分した額を支給
	訪問看護療養費	定められた全費用の7割
	入院時食事療養費	1食あたり260円（1日3食780円を限度）市町村民税非課税者は1食あたり100円～210円（1日3食300円～630円を限度）を超えた額
	移送費	基準内であればかかった費用の10割
	傷病手当金	休業1日につき標準報酬日額の3分の2を1年6ヵ月間
出産で仕事を休むとき	出産手当金	休業1日につき標準報酬日額の3分の2を出産の日以前42日（多胎98日。出産予定日が遅れた期間も支給）、出産の日後56日間
出産するとき	出産育児一時金	1児につき420,000円 ※在胎週数22週未満の出産や産科医療補償制度未加入分娩機関での出産の場合は404,000円
死亡したとき	埋葬料（費）	50,000円



## 健康保険の給付 家族(被扶養者)

病気やけがで受診するとき	家 族 療 養 費	医療費の7割（義務教育就学前は8割）
	保 険 外 併 用 療 養 費	保険外の療養を併用したとき、健康保険のワク内は上記と同じ
	家 族 療 養 費	立て替え払いした後で健保組合に請求すれば一定基準で支給
	家 族 高 額 療 養 費 合 算 高 額 療 養 費	1カ月1件の医療費自己負担が、 <b>所得区分に応じ定められた自己負担限度額</b> を超えたとき、超えた額を支給（世帯合算等の負担軽減措置あり）※1参照
	高 額 介 護 合 算 療 養 費	1年間に医療と介護にかかった自己負担の合計額が <b>所得区分に応じ定められた自己負担限度額</b> を超えたとき、超過分を医療にかかった自己負担の比率に応じて按分した額を支給
	家 族 訪 問 看 護 療 養 費	定められた全費用の7割
	入 院 時 食 事 療 養 費	1食あたり260円（1日3食780円を限度）市町村民税非課税者は1食あたり100円～210円（1日3食300円～630円を限度）を超えた額
	家 族 移 送 費	基準内であればかかった費用の10割
出産するとき	家 族 出 産 育 児 一 時 金	1児につき420,000円 ※在胎週数22週未満の出産や産科医療補償制度未加入分娩機関での出産の場合は404,000円
死亡したとき	家 族 埋 葬 料	50,000円

### ※1 自己負担限度額（平成27年1月以降）（70歳未満）

標準報酬月額	自己負担限度額
83万円以上	252,600円+（医療費-842,000円）×1%
53万円以上83万円未満	167,400円+（医療費-558,000円）×1%
28万円以上53万円未満	80,100円+（医療費-267,000円）×1%
28万円未満	57,600円
低所得者※	35,400円

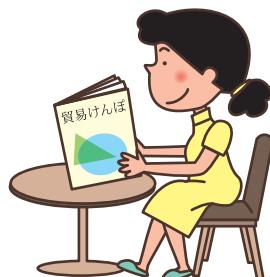
※低所得者とは、市町村民税の非課税者である被保険者と被扶養者、または低所得者の適用を受けることにより生活保護を必要としない被保険者と被扶養者が該当します。

※入院時の食事療養に要した費用は、高額療養費の対象となる費用に含まれません。

## 保健事業

当健康保険組合では下記のような保健事業を行っております。各種事業内容についての詳細は、HPをご覧ください。

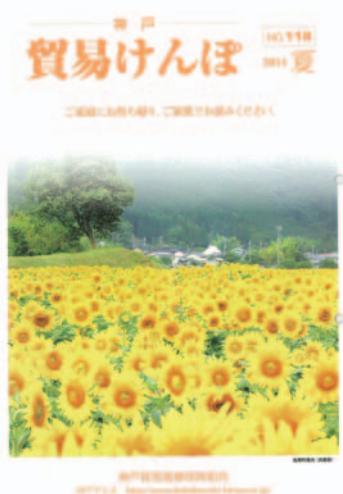
区分	種目	実施時期	事業内容
特定健康診査	特定健康診査	9月～11月	40歳以上の被保険者、被扶養者を対象として実施（P19参照）
	情報提供	9月～11月	健康管理、疾病予防等に関する冊子の配布
特定保健指導	動機付け支援	11月～3月	特定健診で支援の対象となった被保険者・被扶養者に保健指導を実施（P19参照）
	積極的支援	11月～3月	
保健指導宣伝	機関誌の発行	年4回	機関紙『貿易けんぽ』を全被保険者に配布（P19参照）
	保健衛生に関する冊子の配布	随時	健康管理、疾病予防等に関する冊子の配布
	健康者表彰	5月	前年中の健康者の表彰
	医療費通知	毎月	被保険者に医療費のお知らせを配布
疾病予防	一般健診	9月～11月	被保険者全員を対象に実施
	生活習慣病健診	9月～11月	35歳の被保険者を対象に生活習慣病健診を実施
	人間ドック	年間	40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に実施
	家庭常備薬の斡旋	10月	家庭常備薬の斡旋を実施
	インフルエンザ予防接種	10月～3月	インフルエンザ予防接種の補助
体育奨励	海の家・プール・夏期契約保養所	7月～8月	契約施設を利用される場合、利用料金を補助
	アイススケート・スキー	12月～3月	契約施設を利用される場合、利用料金を補助
	スポーツクラブ	年間	「ルネサンス」と法人会員契約
契約保養所	契約保養所	年間	契約保養所を利用される場合、1年度2泊を限度として補助金を支給



## 保健事業

### ● 機関誌「貿易けんぽ」

「予算」「決算」のお知らせを中心に、健康に関する情報を掲載しています。  
また、プール・海の家、アイススケート・スキーのご案内も行っています。



皆様の健康保持増進にご活用を!

○ アイススケート  
【グリーンシーズン】アイススケートカード

○ スキー  
大室山スノーパーク

○ 海の家  
神戸市立ポートアイランドセンター・アイススケートリンク

○ プール  
神戸市立ポートアイランドセンター・プール

○ 開催会場  
中止・延期

○ 特定健康診査

○ 特定保健指導

HPアドレス <http://www.kobeoueki-kenpo.jp/>

皆様の健康保持増進にご活用を!

○ プール  
ブルー海の家・契約保養所の利用ご案内

○ 海の家  
神戸市立ポートアイランドセンター・プール

○ 特定健康診査

○ 特定保健指導

HPアドレス <http://www.kobeoueki-kenpo.jp/>

### ● 特定健康診査

40歳以上の被保険者、被扶養者を対象として実施しています。

#### 検査項目

- 身体計測（身長・体重・腹団）
- 視力検査
- 聴力検査（オージオメーター）
- 血圧測定
- 尿検査（蛋白・糖）

- 胸部X線間接撮影（100mm）
- 心電図（安静時標準12誘導）
- 血液検査（肝・胆道検査、脂質検査、糖尿検査）

\* 検査項目は変更になる場合があります。

### ● 特定保健指導

検査結果で「メタボ予備群」と判定された受診者に対して、保健師等による巡回面談指導・集合面接指導を実施します。

平成26年度

# 収入支出決算のあらまし

当健康保険組合の平成26年度決算・事業報告が、先の組合会で承認されましたので、その概要をお知らせします。

## 一般勘定（健康保険）

〈収入〉

主たる収入源である保険料収入は16億3,336万1千円で、給与・賞与の増額、被保険者数の増加などで前年度より約2,600万円増加しました。その他、前年度の繰越金や別途積立金からの繰入金、国からの補助金や交付金を含め、収入総額は19億5,049万8千円となり、単年度での収入（経常収入）では16億4,585万4千円となっています。

〈支出〉

皆様の医療費や給付金などに充てられた保険給付費は9億1,173万1千円で、加入者1人あたりの医療費の増加、被保険者数の増加などで前年度より約5,000万円増加しました。

組合財政に大きな影響を与える高齢者医療制度への支援金・納付金については7億7,678万7千円となり、前年度より約1億3,000万円増加しました。団塊の世代が前期高齢者に達しているなど高齢化の進展に伴って大幅増となり、今後もこの傾向は続くものと予想されます。

また、皆様の健康づくりをサポートする保健事業は5,697万7千円で、健診事業を中心により一層の事業の充実を図りました。

その他の支出を含め、支出総額は18億2,399万9千円となり、単年度での支出（経常支出）では18億84万4千円となっています。

〈収支〉

単年度での収支（経常収支）で1億5,499万円の経常赤字、収支差引で1億2,649万9千円の決算残金となりました。決算残金は、別途積立金として1億2,100万円、繰越金・財政調整事業繰越金として549万9千円を計上しました。

## 介護勘定（介護保険）

介護保険収入は前年度より223万円増加となりました。

支出の部においては、介護納付金は予算編成時に厚生労働省推計数値により算出し、前年度より約4,600万円増加となりました。

収支差引額990万5千円は、準備金に44万5千円、残りの946万円は翌年度に繰り越しました。

健保連が4月に公表した「平成27年度健保組合予算早期集計結果の概要」によると、全国1,403組合の経常収支差引額は1,429億円の赤字となっています。また、高齢者医療制度を支えるための支援金・納付金等総額は3兆2,893億円となっており、支援金・納付金等の保険料収入に対する割合は約44%を占めています。

この納付金等の負担が健康保険組合の財政悪化の最大の要因であり、平成27年度には団塊の世代全員が前期高齢者に移行することから、高齢者医療制度への納付金等は今後より一層重くなることは明らかです。

このように厳しい状況ですが、当健康保険組合としましては、データヘルス計画に基づいた保健事業を開発し、皆様の健康づくりをサポートしてまいります。皆様におかれましては、健康の維持・増進のために、こうした健康づくり事業に積極的にご参加いただき、日々の健康管理にお役立ていただきますよう、よろしくお願いします。

## ■平成26年度収支決算概要

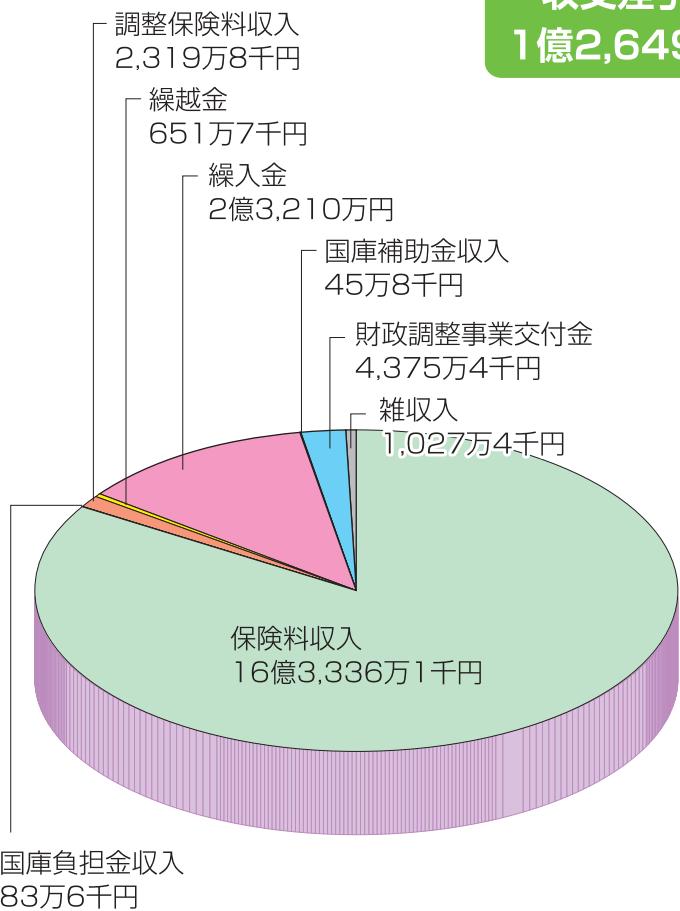
### 一般勘定(健康保険)

#### 収入合計

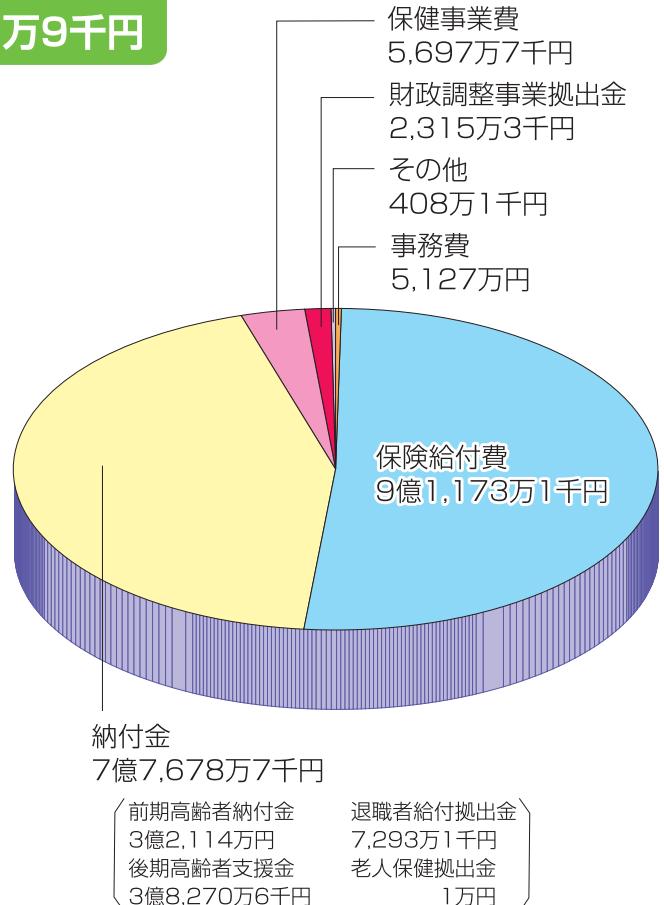
**19億5,049万8千円**

#### 支出合計

**18億2,399万9千円**



**収支差引剰余金  
1億2,649万9千円**



### 介護勘定(介護保険)

収入	科 目	決 算 額
	介護保険収入	1億5,285万3千円
繰 越 金	1,943万9千円	
繰 入 金	2,200万円	
雑 収 入	1万6千円	
合 計	1億9,430万8千円	

支出	科 目	決 算 額
	介護納付金	1億8,439万7千円
	介護保険料還付金	6千円
合 計	1億8,440万3千円	
収支差引剰余金	990万5千円	

#### 組合の概況 (平成27年3月末現在)

- 被保険者数 3,609人
- 平均標準報酬月額 346,252円
- 被扶養者数 3,076人
- 一般保険料率(調整保険料率を含む) 93% (事業主48% 被保険者45%)
- 平均年齢 42.55歳
- 介護保険料率 16% (事業主8% 被保険者8%)

神戸貿易健康保険組合の  
被保険者・被扶養者の皆さま  
スポーツクラブ ルネサンスがおトクにご利用いただけます



全国に  
**96店舗**  
詳しくはうらわを!!

## 秋のキャンペーン実施中!

キャンペーン期間: 平成27年9月1日(火)~10月31日(土)



### お得な法人会員

フィットネス 入会金 一般会員 3,240円(税込)

**0円**

成人スクール入会金 一般会員 3,240円(税込)

会員証発行事務手数料 一般会員 5,400円(税込) **1,080円**

1回払い

1Day  
コーポレート会員

**1,620円/回**

※法人会員限定の会員種別です

変更可能な2つの会員種別!

変更手数料

無料!

Monthly  
コーポレート会員

**8,424円/月**

一般会員(全国マスター会員)は14,364円(税込)

全国の  
クラブが  
使い放題

### キャンペーン中特典

期間中ご入会  
事務手数料 **0円**

### 利用料

**無料クーポン**

#### ●入会手続き当日

■ご利用の際は切り取らずにお持ちください。(コピー可)  
■全国のルネサンスでご利用いただけます。上記キャンペーン期間中有効です。  
※各種スクール、Demil' RENAISSANCE、BodyQ't、通所介護施設はご利用いただけません。

### ご入会に必要なもの

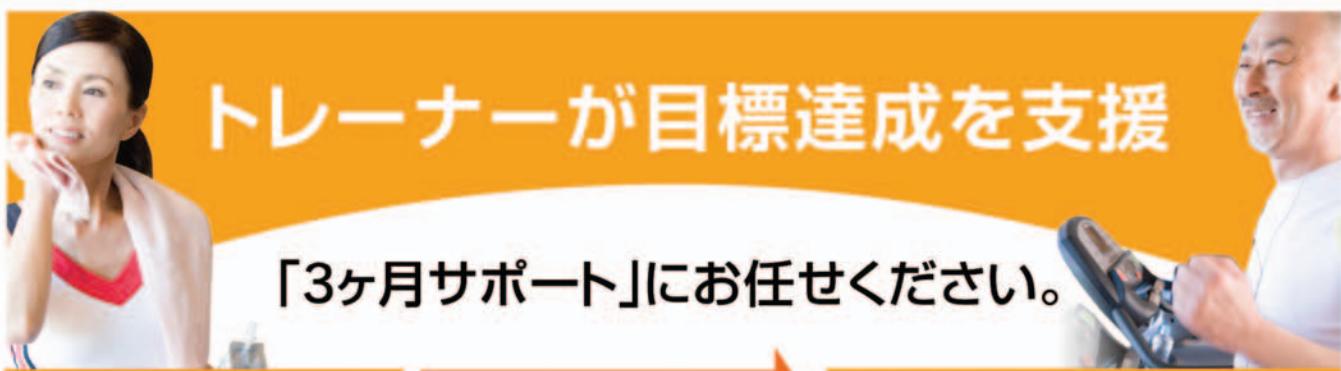
■健康保険証(神戸貿易健保)

■法人会員証発行事務手数料1,080円(税込)(キャンペーン中0円) ■写真3cm(縦)×2.5cm(横)を1枚・スナップ写真可

(Monthlyコーポレート会員は以下も必要になります)

■金融機関名・支店名・口座番号の控え・お届け印 ■月会費2ヶ月分 ■本人確認書類(運転免許証・保険証・パスポート・在留カードのいずれか)

※ご入会の方はルネサンスカード(イオンもしくはジャックス)の申し込みが必要です。(会費はルネサンスカードからの引き落としとなります。)



# トレーナーが目標達成を支援

「3ヶ月サポート」にお任せください。

## 「3ヶ月サポート」とは?

月1回トレーナーとマンツーマンで「カラダ測定」を実施し、肩こりや腰痛などの体の悩み、目標などを伺いながら無料でトレーニングメニューを作成します。

## 入会～3ヶ月継続サポート



## 「だから、続けられる!」

変化が実感できるからもっと続けたくなる!  
私たちトレーナーにお任せください。

(2014年7月に利用開始された全国のルネサンスフィットネス会員8,483名対象)



3ヶ月以上  
続けた方

## 基礎体力作りに ボディメイクヨガ



はじめての方でも安心。ヨガのポーズで全身を暖め、しなやかな体を作ります。

## 個別指導 パーソナルトレーニング



目的や悩みをお伺いし、経験豊富なトレーナーがあなたにピッタリのトレーニングを提案します。(有料プログラム)

## たまった疲れを リフレッシュ!

店舗により施設内容は異なります。



※有料となります。

## 全国のクラブがお使いいただけます。



北海道・東北	長岡	浦安	曳舟	港南台	岐阜LCワールド	中国	春日
札幌平岸	埼玉	新浦安	両国	港南中央	近畿	玉島	イオンモール福岡
アリオ札幌	浦和	幕張	青砥	相模大野	京都山科	福山春日	長崎ココウォータ
函館	蕨	鎌子※	三軒茶屋	橋本	豊中	福山多治米	佐世保
仙台泉中央	北朝霞	八日市場※	経堂	淵野辺	千里中央	東広島	大分
仙台長町南	北戸田	東京	仙川	大和	住道	広島	熊本
仙台南光台	春日部	赤羽	東伏見	鶴間	住之江	広島ボルバーク	熊本南
山形	新所沢※	光が丘	ひばりヶ丘	海老名	久宝寺	広島緑井	宮崎
郡山	吉川※	石神井公園	東久留米	中部	アルザ泉大津	徳山	九州
いわき	千葉	練馬高野台	国立	トーア沼津	登美ヶ丘	小倉	
関東甲信越	野田	富士見台	西国分寺	静岡	尼崎	福岡香椎	
水戸	佐倉	早稲田	神奈川	名古屋熱田	伊丹	福岡大橋	
竜ヶ崎	稻毛	亀戸	横浜	甚目寺	神戸	福岡西新	
松本	土気あすみが丘	北砂	天王町	名古屋小幡	姫路		

※はプールのみの施設となります。

テニス・スカッシュ・ゴルフ・託児室・駐車場等、一部、事前予約が必要な設備、有料な設備がございます。ルネサンスホームページ <http://www.s-re.jp/>にて最新のクラブ情報を掲載しております。



お問い合わせ先

03-5600-5399



ルネサンス 法人会員利用

検索

※以下の項目に該当する方の施設利用をお断りすることがあります。  
●医師等により、運動を禁じられている方●妊娠中の方●他人に感染する恐れのある疾病を有する方●酒気を帯びている方●刺青(タトゥー含む)のある方●ペット連れの方●暴力団関係者●会社が不適当と認めた方  
※ご利用は15歳以上の方に限らせていただきます。

# 神戸貿易健康保険組合のホームページをご利用ください

<http://www.kobeboueki-kenpo.or.jp/>

The screenshot shows the homepage of the Kobe Boueki Kenpo website. At the top, there's a navigation bar with links for '保険料と保険給付' (Premium and Benefit), '健康づくり編' (Health Promotion), '保険証編' (Insurance Certificate), '受診編' (Consultation), 'ライフシーン編' (Life Scenario), and '申請書ダウンロード' (Application Form Download). Below the navigation is a large banner image of the Kobe waterfront. To the left, a green speech bubble contains the text 'お知らせ' (Notice) and '健保組合から最新のお知らせを随時更新しています。' (We regularly update the latest information from the health insurance cooperative). To the right, another green speech bubble contains '保健事業' (Healthcare Services) and '人間ドックの申し込み、プールやアイススケートなどの利用はこちらをクリック！' (Click here for human check-ups, pools, or ice skating). In the center, there's a section titled 'こんなとき' (When) with two columns: '受診編' (Consultation) and 'ライフシーン編' (Life Scenario). The '受診編' column lists situations like '病気やけがで受診するとき' (When you visit a doctor due to illness or injury) and '入院したときの食事' (When you are hospitalized). The 'ライフシーン編' column lists events like '結婚したとき' (When you get married) and '出産するとき' (When you give birth). Below these are sections for '保険証編' (Insurance Certificate) and '健康づくり編' (Health Promotion), each with a list of related topics.

発行

神戸貿易健康保険組合

神戸市中央区浜辺通5丁目1-14 (神戸商工貿易センタービル14階)

平成27年8月

TEL (078) 251-0800 FAX (078) 251-9889 HP <http://www.kobeboueki-kenpo.or.jp/>